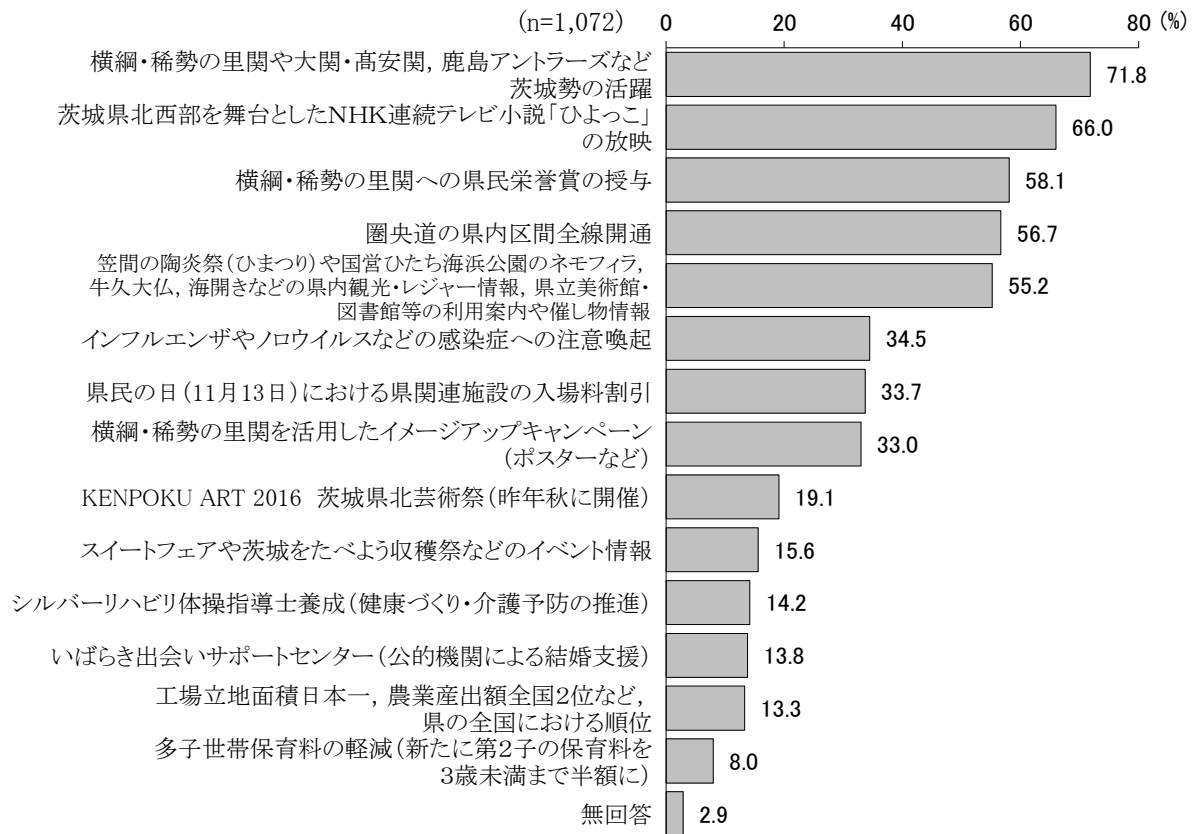


XI 広報活動

1. 見聞きしたことがある県政情報

－「横綱・稀勢の里関や大関・高安関、鹿島アントラーズなど茨城勢の活躍」が7割超－

問35 県では、県政情報をさまざまな方法によりお知らせしています。県政情報の例としては、次のようなものが挙げられますが、あなたがこの1年の間に一度でも見たり、聞いたりしたものはどれですか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



この1年の間に一度でも見たり、聞いたりした県政情報としては、「横綱・稀勢の里関や大関・高安関、鹿島アントラーズなど茨城勢の活躍」(71.8%)が7割を超えて最も高く、次いで、「茨城県北西部を舞台としたNHK連続テレビ小説『ひよっこ』の放映」(66.0%)が6割台、「横綱・稀勢の里関への県民栄誉賞の授与」(58.1%)、「圏央道の県内区間全線開通」(56.7%)、「笠間の陶炎祭(ひまつり)や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報、県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報」(55.2%)が5割台で続いている。

－鹿行で「横綱・稀勢の里関への県民栄誉賞の授与」が7割超－

地域別でみると、「横綱・稀勢の里関への県民栄誉賞の授与」は、鹿行（71.8%）で7割を超えて最も高くなっている。

－県央で「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ，牛久大仏，海開きなどの県内観光・レジャー情報，県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報」が7割台半ば－

地域別でみると、「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ，牛久大仏，海開きなどの県内観光・レジャー情報，県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報」は，県央（76.1%）で7割台半ばと最も高くなっている。

－女性で「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ，牛久大仏，海開きなどの県内観光・レジャー情報，県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報」が男性よりも約14ポイント，「インフルエンザやノロウイルスなどの感染症への注意喚起」が男性よりも約13ポイント高い－

性別でみると，「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ，牛久大仏，海開きなどの県内観光・レジャー情報，県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報」は，女性（61.8%）が男性（48.0%）よりも約14ポイント，「インフルエンザやノロウイルスなどの感染症への注意喚起」は，女性（40.9%）が男性（27.5%）よりも約13ポイント高くなっている。

－男性で「圏央道の県内区間全線開通」が女性よりも13ポイント高い－

性別でみると，「圏央道の県内区間全線開通」は，男性（63.5%）が女性（50.5%）よりも13ポイント高くなっている。

－女性の18～29歳で「茨城県北西部を舞台としたNHK連続テレビ小説『ひよっこ』の放映」が8割－

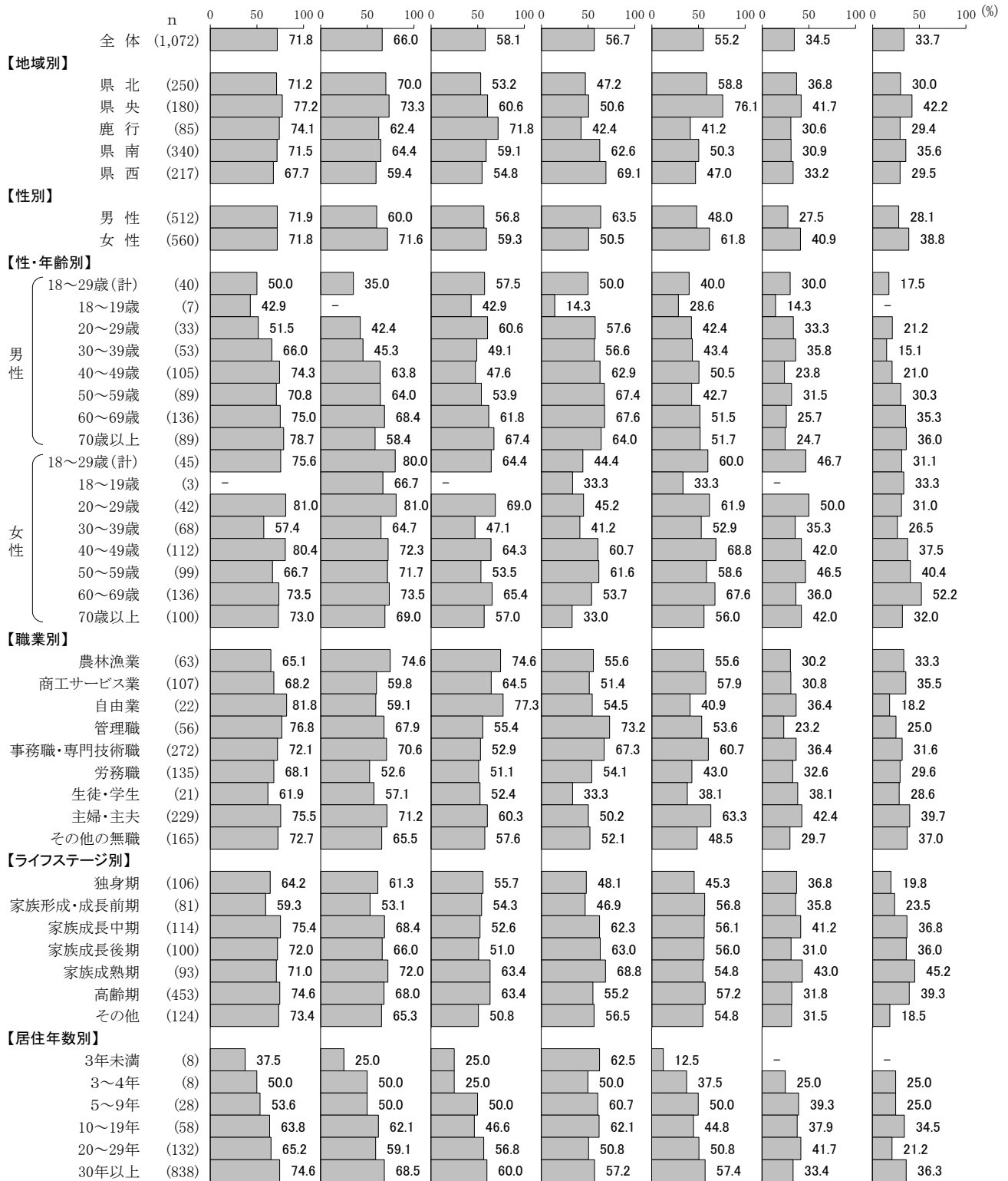
性・年齢別でみると，「茨城県北西部を舞台としたNHK連続テレビ小説『ひよっこ』の放映」は，女性の18～29歳（80.0%）で8割と高くなっている。

－男性の50代と60代で「圏央道の県内区間全線開通」が約7割－

性・年齢別でみると，「圏央道の県内区間全線開通」は，男性の50代（67.4%）と60代（67.6%）で約7割と高くなっている。

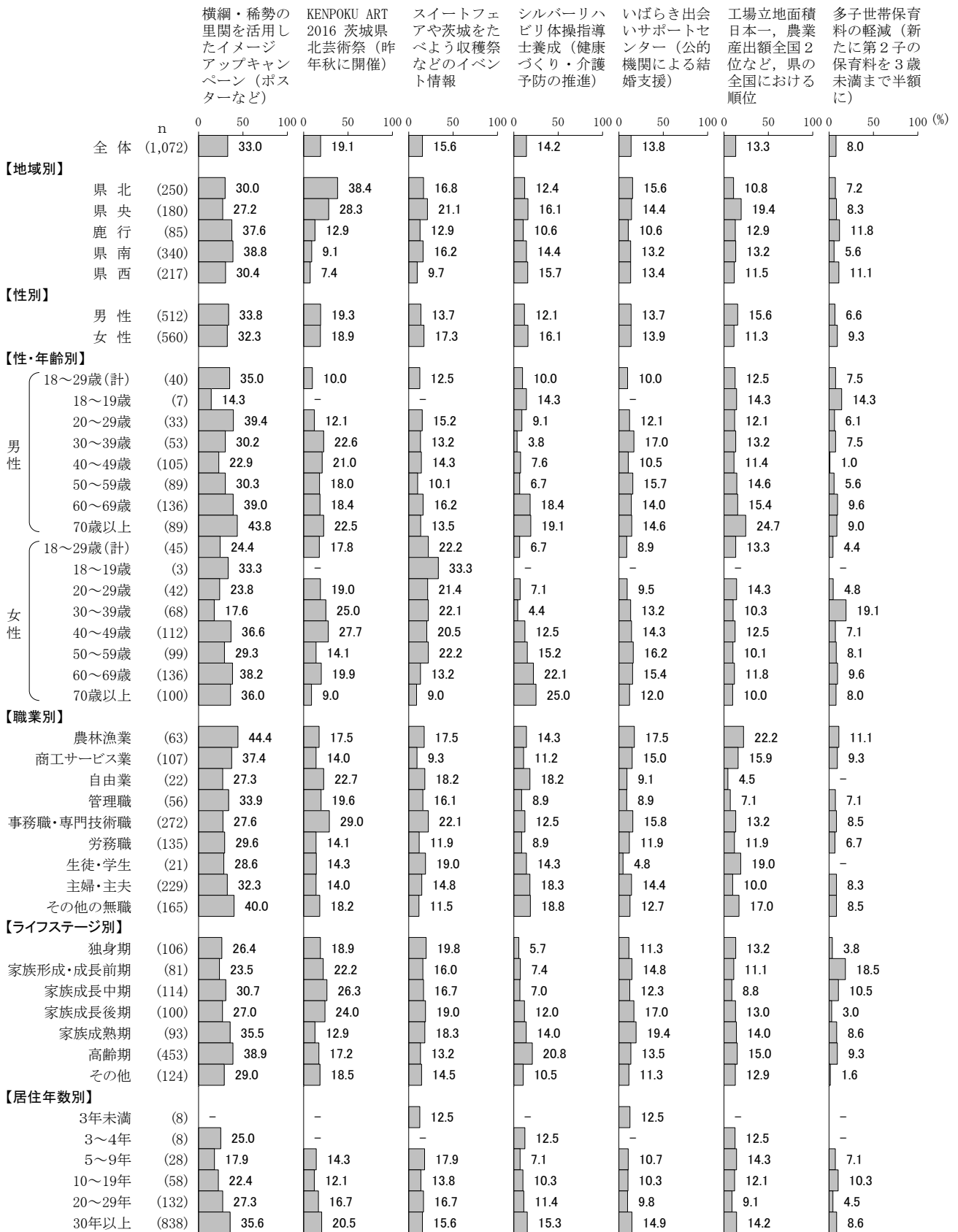
図XI 35-1 見聞きしたことがある県政情報
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別、居住年数別)

横綱・稀勢の里関や大関・高安関、鹿島アントラーズなど茨城勢の活躍
茨城県北西部を舞台としたNHK連続テレビ小説「ひよっこ」の放映
横綱・稀勢の里関への県民栄誉賞の授与
圏央道の県内区間全線開通
笠間の陶炎祭(ひまつり)や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報、県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報
インフルエンザやノロウイルスなどの感染症への注意喚起
県民の日(11月13日)における県関連施設の入場料割引



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

〈続き〉図XI 35-1 見聞きしたことがある県政情報
 (地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)

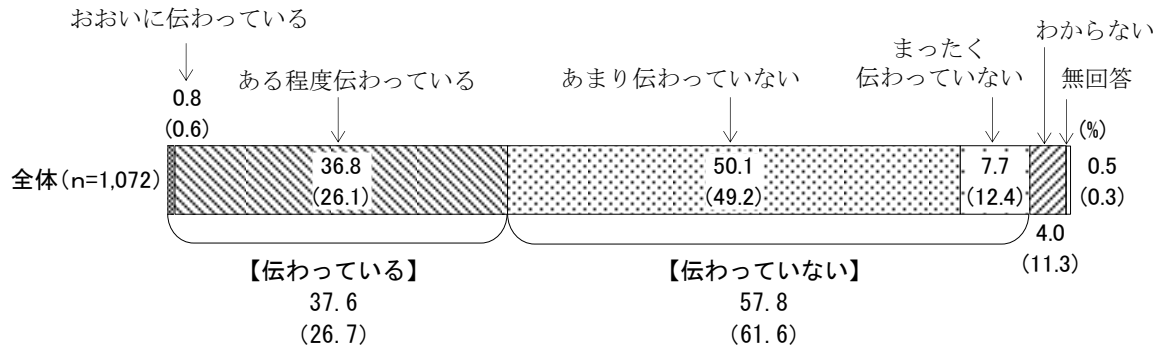


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
 性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

2. 県政情報の到達度

－【伝わっている】は約4割－

問36 県では、このような県政情報やそれ以外の多くの情報をさまざまな方法でお知らせしています。県からのお知らせ、県関連イベント、県の事業・行政サービスの情報などは、県民の皆さんに伝わっていると思いますか。次の中から、一番近いものを1つだけ選んでください。



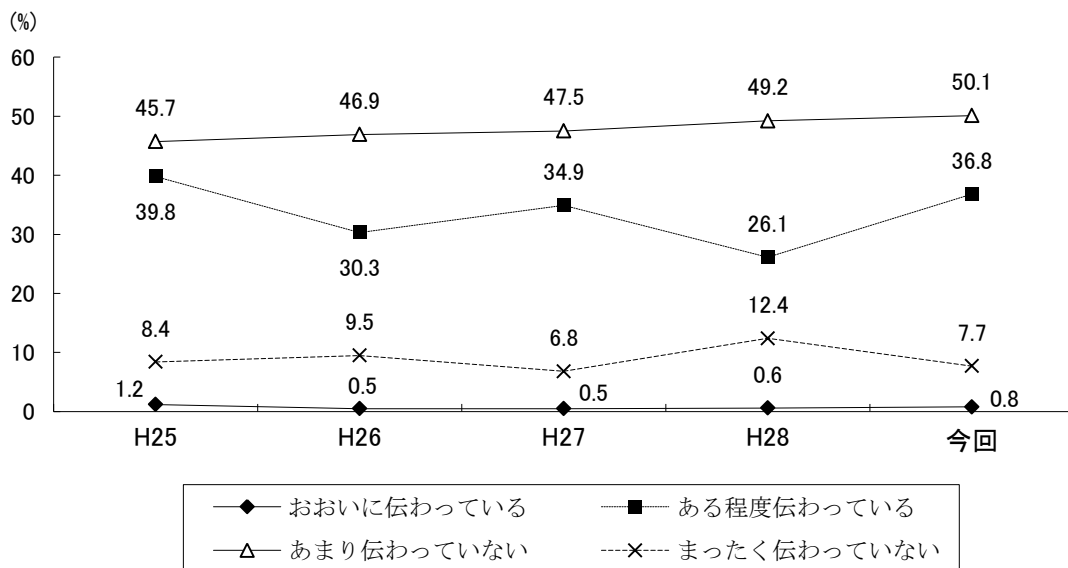
※()内の数値は、平成28年の調査結果

県政情報の到達度としては、「おおいに伝わっている」(0.8%)と「ある程度伝わっている」(36.8%)を合わせた【伝わっている】(37.6%)は約4割となっている。一方、「あまり伝わっていない」(50.1%)と「まったく伝わっていない」(7.7%)を合わせた【伝わっていない】(57.8%)は約6割となっている。

－【伝わっている】が約11ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、【伝わっている】が約11ポイント増加している。

図XI 36-1 県政情報の到達度(時系列)



―鹿行と県西で【伝わっている】が4割超―

地域別でみると，【伝わっている】は，鹿行（42.4%）と県西（40.1%）で4割を超えて高くなっている。

―女性で【伝わっている】が男性よりも約6ポイント高い―

性別でみると，【伝わっている】は，女性（40.4%）が男性（34.8%）よりも約6ポイント高くなっている。

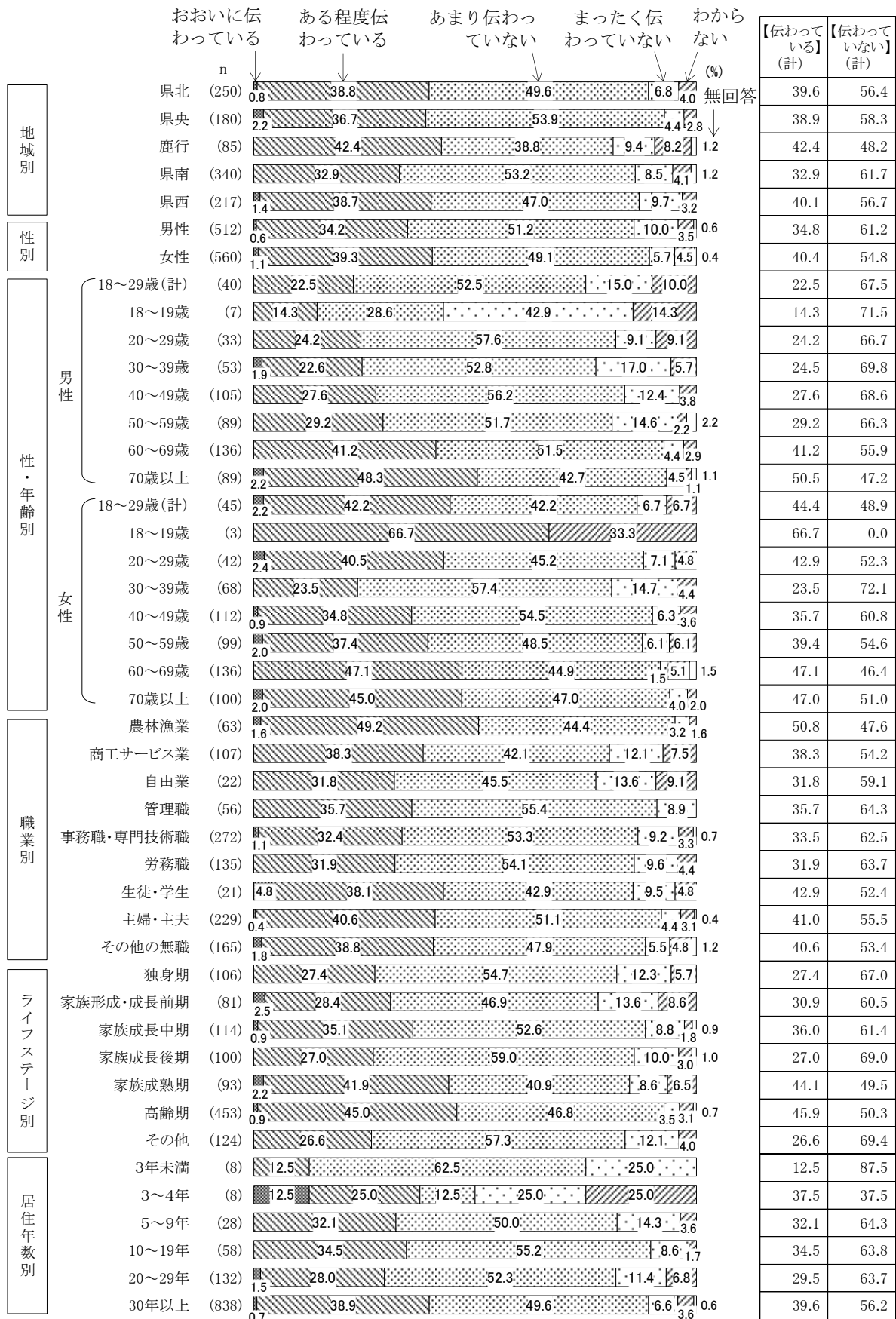
―男性の70歳以上，女性の60代，70歳以上で【伝わっている】が約5割―

性・年齢別でみると，【伝わっている】は，男性の70歳以上（50.5%），女性の60代（47.1%），70歳以上（47.0%）で約5割と高くなっている。

―農林漁業で【伝わっている】が約5割―

職業別でみると，【伝わっている】は，農林漁業（50.8%）で約5割と高くなっている。

図XI 36-2 県政情報の到達度
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)

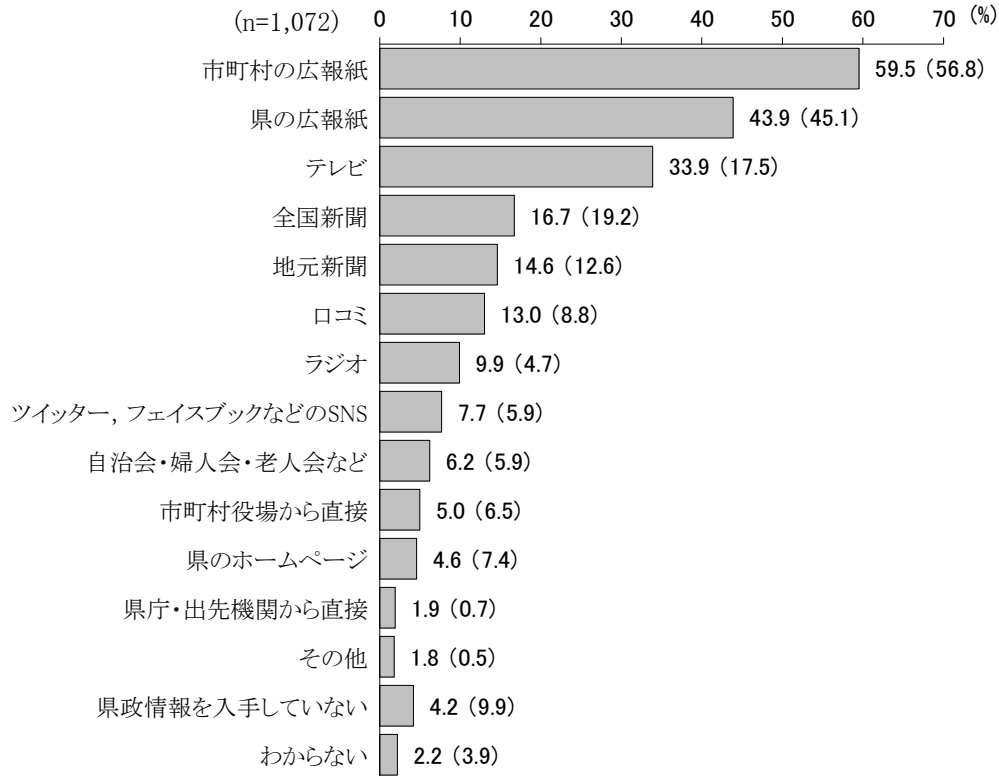


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

3. 県政情報の主な入手先

－「県の広報紙」は4割台半ば－

問37 あなたは、県からのお知らせ、県関連イベント、県の事業・行政サービスなどの県政情報を主にどこから入手していますか。次の中から、主なものを3つまで選んでください。



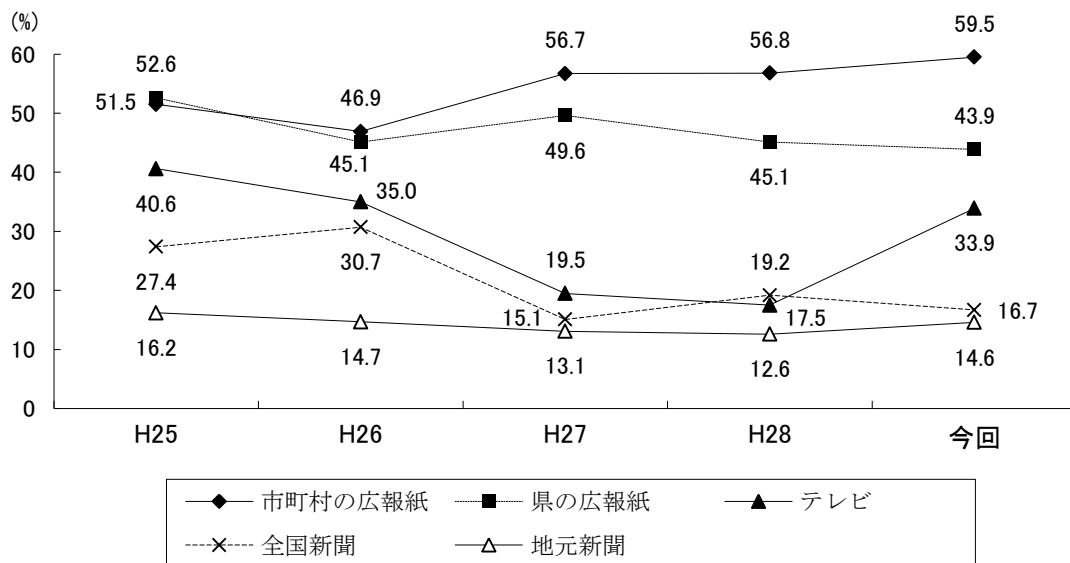
※()内の数値は、平成28年の調査結果

県政情報の主な入手先としては、「市町村の広報紙」(59.5%)が約6割で最も高く、次いで、「県の広報紙」(43.9%)が4割台、「テレビ」(33.9%)が3割台で続いている。

－「テレビ」が約16ポイント増加－

前回調査（昨年）と比べると、「テレビ」が約16ポイント増加している。

図XI 37-1 県政情報の主な入手先（時系列）



－県南で「市町村の広報紙」が約7割－

地域別でみると、「市町村の広報紙」は、県南（67.4%）で約7割と最も高くなっている。

－鹿行で「県の広報紙」が約5割－

地域別でみると、「県の広報紙」は、鹿行（50.6%）で約5割と最も高くなっている。

－女性で「市町村の広報紙」が男性よりも13ポイント高い－

性別でみると、「市町村の広報紙」は、女性（65.7%）が男性（52.7%）よりも13ポイント高くなっている。

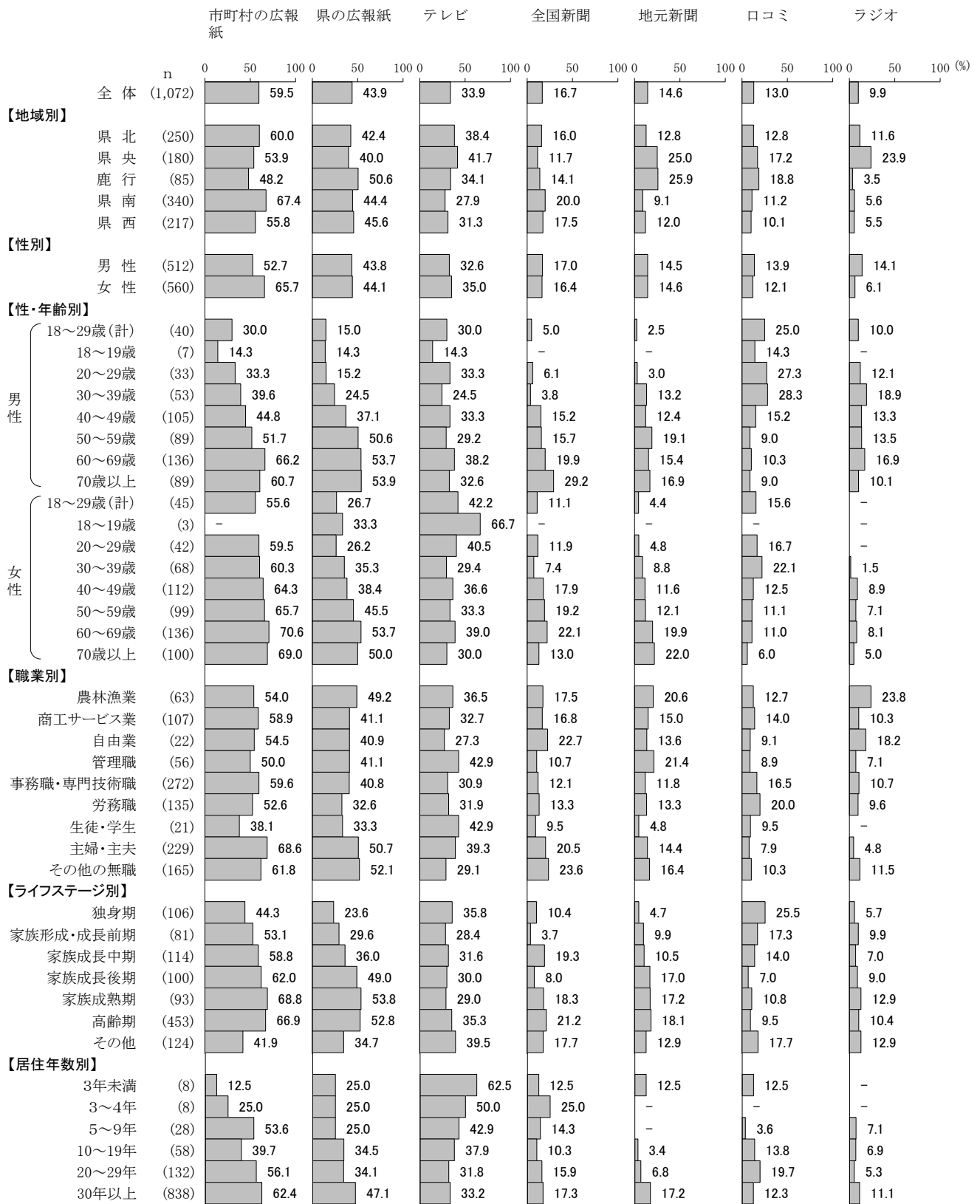
－女性の60代以上で「市町村の広報紙」が約7割－

性・年齢別でみると、「市町村の広報紙」は、女性の60代（70.6%）と70歳以上（69.0%）で約7割と高くなっている。

－男性の60代，70歳以上，女性の60代で「県の広報紙」が5割台半ば－

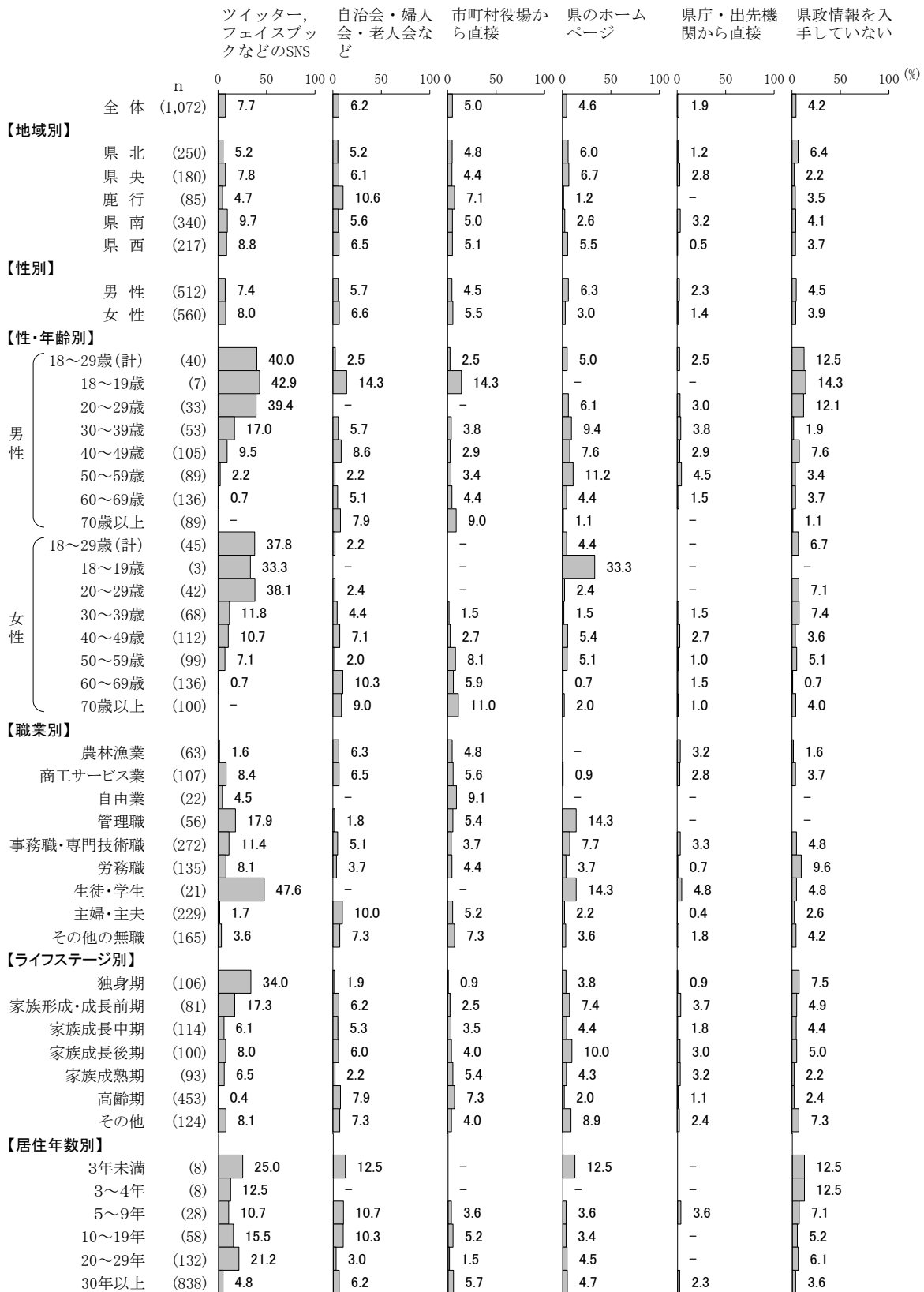
性・年齢別でみると、「県の広報紙」は、男性の60代（53.7%），70歳以上（53.9%），女性の60代（53.7%）で5割台半ばと高くなっている。

図XI 37-2 県政情報の主な入手先
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

〈続き〉図XI 37-2 県政情報の主な入手先
 (地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)

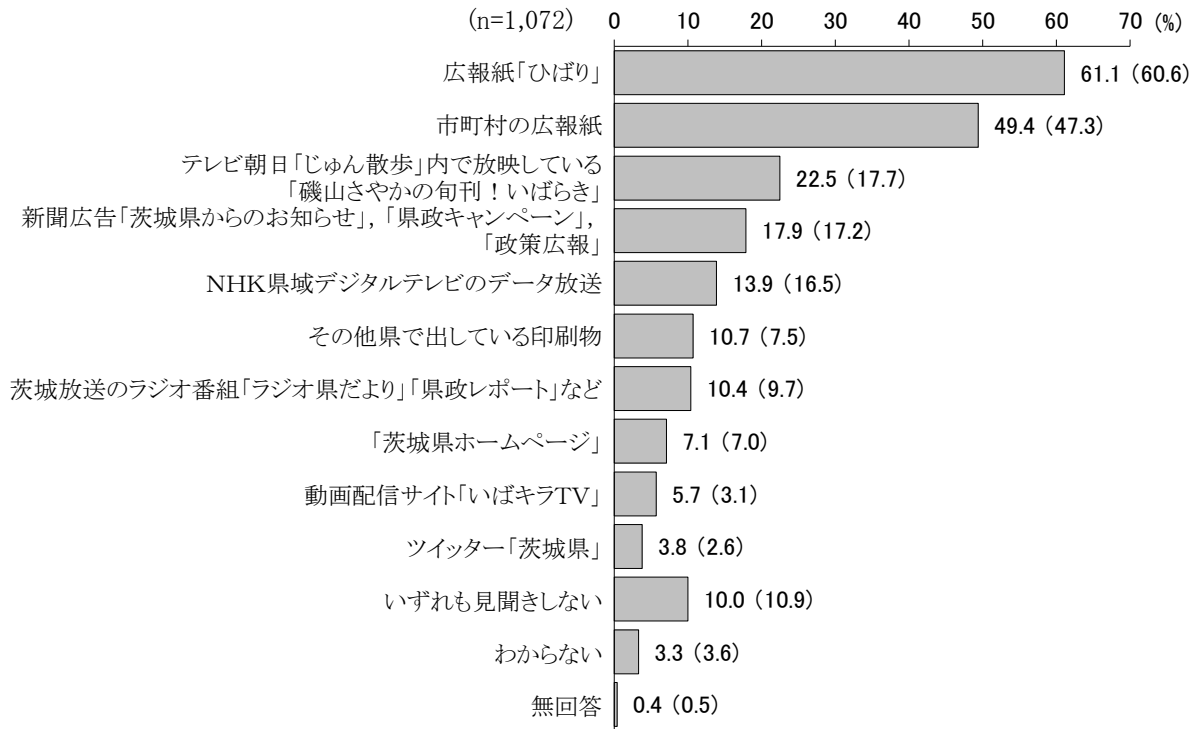


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
 性・年齢別では, 18~19歳, 20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

4. 最近接触した広報媒体

－「広報紙『ひばり』」が6割超－

問38 県からのお知らせ、県関連イベント、県の事業・行政サービスなどの県政情報について、この1年の間に一度でも見たり、聞いたり、読んだりしたものはどれですか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



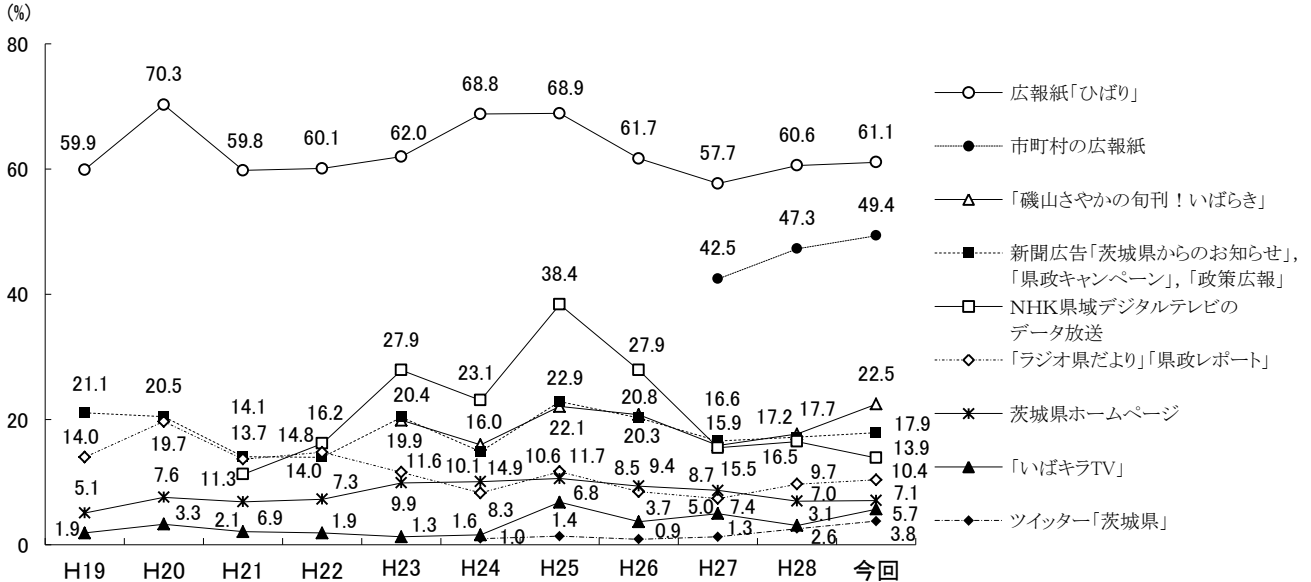
※()内の数値は、平成28年の調査結果

最近接触した広報媒体としては、「広報紙『ひばり』」(61.1%)が6割を超えて最も高く、次いで、「市町村の広報紙」(49.4%)が4割台、「テレビ朝日『じゅん散歩』内で放映している『磯山さやかの旬刊! いばらき』」(22.5%)が2割台で続いている。

— 「テレビ朝日『じゅん散歩』内で放映している『磯山さやかの旬刊！いばらき』」が約5ポイント増加—

前回調査（昨年）と比べると、「テレビ朝日『じゅん散歩』内で放映している『磯山さやかの旬刊！いばらき』」が約5ポイント増加している。

図XI 37-1 最近接触した広報媒体（時系列）



- ※ 「市町村の広報紙」は、平成27年より追加
- ※ 「磯山さやかの旬刊！いばらき」は、平成23年より追加
- ※ 「新聞広告『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』『政策広報』」は、平成22年までは「新聞広報『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』」
- ※ 「NHK県域デジタルテレビのデータ放送」は、平成21年より追加、平成21年と平成22年では「まちむら中継」、平成23年から平成26年では「ライブいばらき」、平成27年では「いばっチャオ！」
- ※ 「ラジオ県だより」「県政レポート」は、平成23年までは「ラジオ県だより」「県政スポット」
- ※ 「いばキラTV」は、平成24年までは「いばらきインターネット放送局」
- ※ 「ツイッター『茨城県』」は、平成24年より追加、平成27年までは「ツイッター『茨城県広報広聴課』」

— 鹿行で「広報紙『ひばり』」が7割超—

地域別でみると、「広報紙『ひばり』」は、鹿行（72.9%）で7割を超えて最も高くなっている。

— 女性で「広報紙『ひばり』」が男性よりも約13ポイント高い—

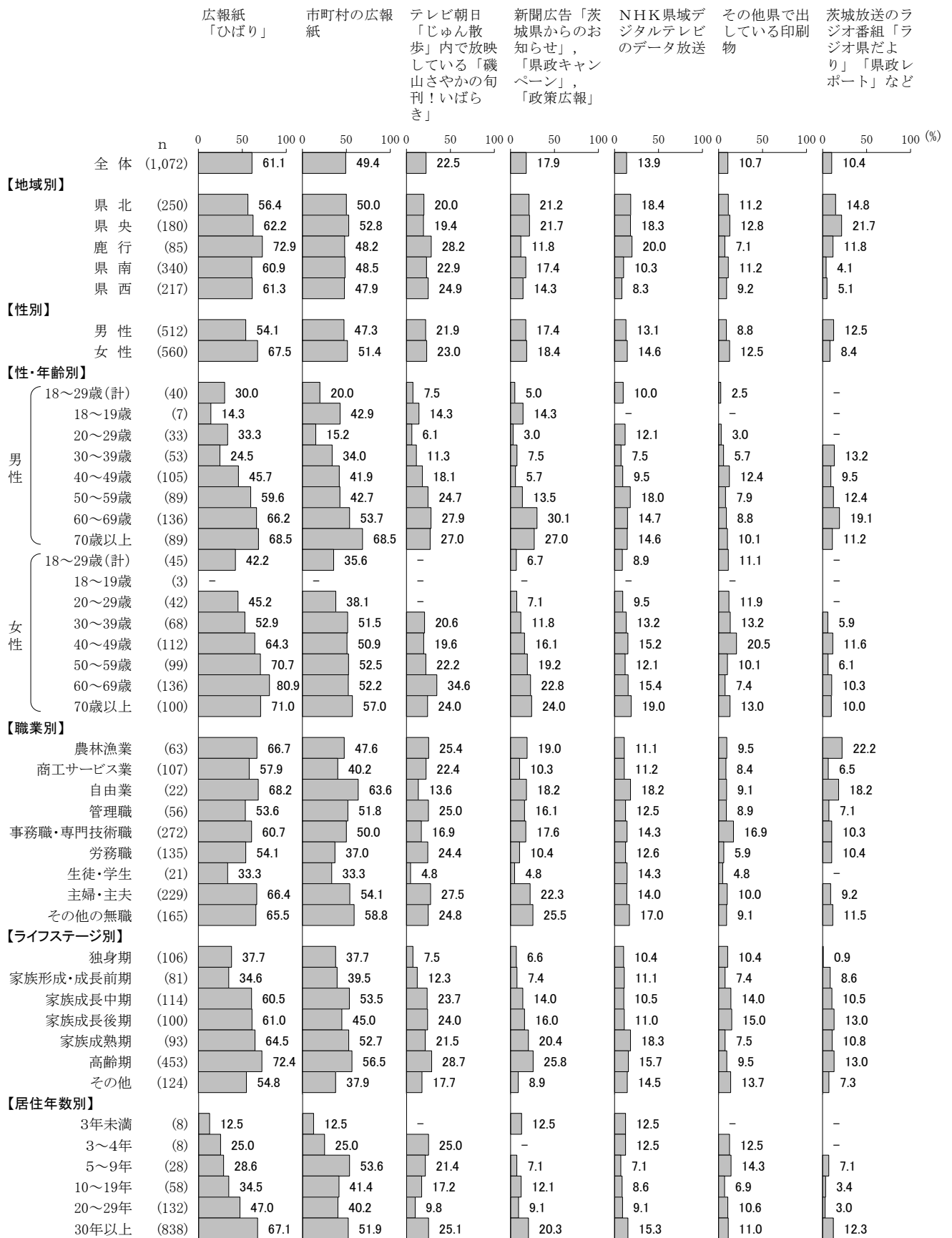
性別でみると、「広報紙『ひばり』」は、女性（67.5%）が男性（54.1%）よりも約13ポイント高くなっている。

— 女性の60代で「広報紙『ひばり』」が約8割—

性・年齢別にみると、「広報紙『ひばり』」は、女性の60代（80.9%）で約8割と最も高く、次いで、女性の50代（70.7%）と70歳以上（71.0%）で7割を超えて高くなっている。

図XI 37-2 最近接触した広報媒体

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位7項目)

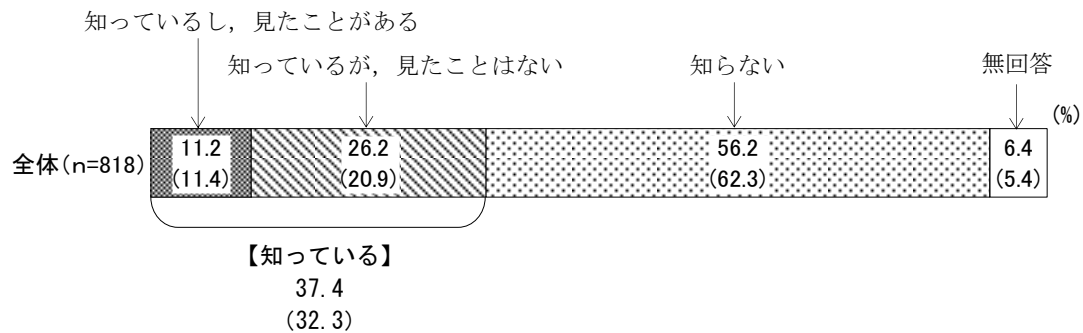


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

5. 「いばキラTV」の認知度

－【知っている】は約4割－

問39 (インターネットを見られる環境がある方にお伺いします。) 県では、「いばキラTV」により地域の様々な情報をインターネットを通じて動画配信していますが、あなたは「いばキラTV」を知っていますか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



※()内の数値は、平成28年の調査結果

「いばキラTV」の認知度としては、「知っているし、見たことがある」(11.2%)と「知っているが、見たことはない」(26.2%)を合わせた【知っている】(37.4%)は約4割となっている。一方、「知らない」(56.2%)は5割台半ばとなっている。

－【知っている】が約5ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、【知っている】が約5ポイント増加している。

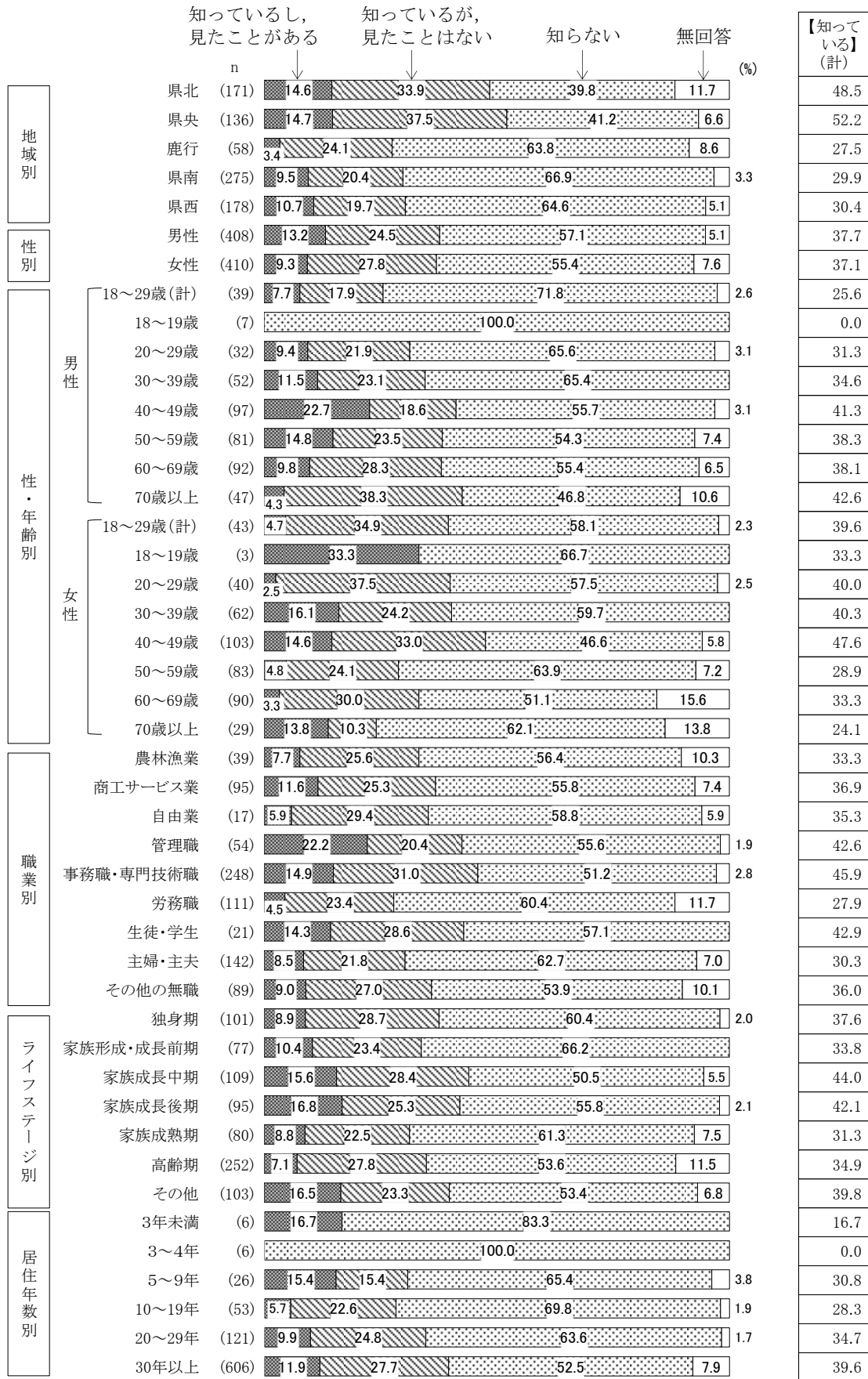
－県央で【知っている】が5割超－

地域別でみると、【知っている】は、県央(52.2%)で5割を超えて最も高く、次いで、県北(48.5%)で約5割と高くなっている。

－女性の40代で【知っている】が約5割－

性・年齢別でみると、【知っている】は、女性の40代(47.6%)で約5割と最も高くなっている。

図XI 39-1 「いばキラTV」の認知度
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。